

2022年度 JDC 西部総局アマチュア競技規定

本規約は2022年1月1日より2022年12月31日(以下年度と言う)の間に開催されるJDC西部総局主管競技会のアマチュア部門に適用する。

【 登録について 】

公益社団法人日本ダンス議会（JDC）西部総局（以下JDC西部総局という）は、個人登録とし登録料は無料。ただし1人につき1,000円の通信費を徴収する。

3年間出場のない選手は登録を抹消する。

プロフェッショナル登録を抹消してから6ヵ月を経過した選手はアマチュア登録を認める。

西部管轄地域外に住所がある場合、登録はJDC西部総局アマチュア委員会で決定する。

他団体からのクラス移行について

他団体出場の確認が取れた選手は、他団体の持ちクラスを移行できる。

【 競技会 】

競技はボールルームとラテンアメリカンの2セクションに分けて実施する。

両セクション共A級～D級・ノービス級の5クラス、シニア戦、ジュニア戦、ブラインドダンスを実施する。

A級戦は4種目以上総合とする。

B級戦は2種目以上総合とする。

C級戦は2種目総合とする。

D級戦・ノービス級戦はW・T・F・C・R・Sの単科別戦で実施する。

シニア戦はトータル120歳以上、かつ片方が50歳以上の登録選手による2種目総合とする。

ジュニア戦はリーダー・パートナーとも中学生以下の選手とし単科戦で実施する。

ブラインドダンスはリーダーの部とパートナーの部をW・T・C・Rの単科戦で実施する。

種目はシラバスに記載されたものとする。

【 エントリー料 】

A～C級戦は総合で ￥4,000-

D級戦は単科別 ￥4,000-

シニア戦は総合で ￥4,000-

ノービス級戦は単科別 ￥4,000-

ジュニア戦は単科別 ￥1,000-

(クラス別戦にジュニア選手がエントリーする場合はいずれのクラスも￥2,000-)

ブラインドダンス 無料

【 出場規定 】

競技会への出場は、登録を済ませかつ通信費を支払った選手のみとする。

登録された名前又は通称でのみの出場とする。

D 級以上の選手は自己の登録級より上のクラスには出場することが出来るが、下のクラスに出場することはできない。(D 級以上の登録選手の上位挑戦はいずれの級に対しても挑戦可、ポイント授与に関しては昇降級規定参照。)

ノービス級同士の選手は D 級以上の競技には出場出来ない。

同一競技会の同一セクションにおいては、異なる相手と組んで複数のクラスに出場することはできない。

シニア戦にはどのクラスの選手も出場できる。(年齢制限有り 競技会の項目参照)

公式戦 (A 級～ノービス級) に出場しないシニア戦の選手はノービス級とする。

【 学生競技ダンス連盟登録者について 】

初出場時のクラスは、学連競技会 4 種目戦のファイナリストは A 級から出場。

その他は C 級以上から任意で選択する。

学連としての出場は学連最終学年時の 3 月 31 日までの競技会とし、卒業後は持ちクラスをそのまま移行する。

持ち級のある選手は、出場しなければ在学中であっても降級する。

卒業後に初めて JDC 西部総局主管競技会へ出場される学連経験者は D 級からとする。

但しエントリー時に申告が必要(卒業後の年数・在学年数問わず)

【 カップル結成時のクラス決定について 】

新しくカップル結成をする場合、下記の表を参照し結成時の自己級を決定する。

(例) D 級のリーダーと B 級のパートナーが組む場合、4 点 + 8 点 = 12 点となり
このカップルの自己級は C 級となる。

カップル結成における クラス編成			
級	級別持ち点		条 件
	リーダー	パートナー	双方の持ち点合計
A	12	12	18点以上
B	8	8	14点以上
C	6	6	10点以上
D	4	4	5点以上
N	1	1	

【 昇降級 】

昇降級の対象となる競技会は、JDC 西部総局主管競技会とする。

★昇級について

各セクションポイント制とし、規定ポイントに達した場合年度末に昇級。

年度途中で規定ポイントに達した場合、アマチュア委員会に届け出をすれば任意^(註)に昇級できる。

(注)任意に昇級とは、ポイント獲得時より年度末を待たずに、年度内に随時昇級可とするものである。

但し、出場が3組以上のノービス級戦で出場組数の20%以内(端数切り上げ)の順位を得た選手は即日昇級とする。(例えば、5組出場→1組昇級、6組～10組出場→2組昇級)ポイントはセクション別、クラスごとに計算される。また、各選手の登録番号ごとに管理される。

同一人物がリーダー及びパートナーとして出場する場合、それぞれに登録番号を付与される。その為、リーダーとしてのポイントとパートナーとしてのポイントは合算されない。ポイントは次年度に繰り越さない。

ポイントは下記2種類のポイントが与えられる。

1) 競技会出場ポイント

自己級1セクション出場につき1ポイント(例えばC①とC②に出場すれば2ポイント、D級戦で3種目に出場した場合は3ポイント、但し欠場は0ポイント)

上位挑戦の出場ポイントは加算されない。(自己級のない試合で上位挑戦した場合は、競技会出場ポイント・決勝入賞ポイント共に加算される)

自己級に出場、かつシニア戦に出場した場合、1ポイント加算される。

昇降級におけるシニア出場ポイントはいずれも加算される。

2) 決勝入賞ポイント

決勝入賞者には下記ポイントが与えられる。

1位	6ポイント	2位	5ポイント	3位	4ポイント	4位	3ポイント
5位	2ポイント	6位以下の決勝入賞者		1ポイント			

出場5組以下の場合は次の通り

5組出場は1位5ポイント、2位4ポイント・・・

4組出場は1位4ポイント・・・

3組～1組出場は1位3ポイント・・・

*昇級に必要なポイント

A 級昇級 B 級戦で年度内に 15 ポイント以上

B 級昇級 C 級戦で年度内に 25 ポイント以上

C 級昇級 D 級戦で年度内に 30 ポイント以上

(D 級戦は種目ごとにポイントがつきます)

ノービス級より D 級 年度内に 11 ポイント以上

(単科戦につき種目ごとにポイントがつきます。)

*昇級に関する上位挑戦に与えられるポイント

B 級から D 級の選手は、自己級に出場したうえで上位挑戦し決勝に入賞した場合は既定の決勝ポイントが加算される。但し、出場ポイントは加算されない。

★降級について

いずれのクラスも年間 5 ポイントに満たないか、各級 1 次予選を 2 回クリアしなければ年度末に降級。(ただし、決勝から行われた場合は予選通過とはみなされない。その他、特別な事例については運営委員会に諮る。)

昇級・降級の両条件に該当した場合は昇級を優先する。

D 級、ノービス級は降級しない。

登録初年度は降級しない。

*降級に関する上位挑戦に与えられるポイント

B 級・C 級の選手は、自己級に出場したうえで上位挑戦し獲得した競技会出場ポイント、決勝ポイントは加算される

【 使用フィガー 】

ヴェニーズワルツにおいて

ナチュラルターン、リバースターン、前進・後退のチェンジステップ、ナチュラル及びリバースフレッカール、コントラチェック、ナチュラル及びリバースピポット (チェンジステップの代わりに使用するのは可、連続での使用は不可)

これらのステップの組み合わせとする。上記以外のステップは不可。

その他の種目において使用フィガーは自由とする。

但し競技中に相手を持ち上げるフィガーは禁止される。

ソロ競技を採用された競技においては、事前に指定されたルーティーンを守らなければならない。

【 服装規定 】

A級～D級は正装とする。

ノービス級、シニア戦は、ボールルームは平服・上着ネクタイ着用（正装も可）、
ラテンアメリカンは自由とする。

ジュニア選手がジュニア戦、もしくは公式戦（各セクションA級～D級）に出場する場合、
ボールルームは正装または平服・上着ネクタイ着用（ベスト可）、
ラテンアメリカンは自由とする。

【 その他 】

出産、疾病、怪我、事故などによるクラスの維持、降級に関しては届の提出により
審議対象とする。

本規定に明記されていない事柄に関してはその都度 JDC 西部総局運営委員会において
協議し決定する。

【JDC 西部総局アマチュア委員会連絡先】

京都カルチャーダンスアカデミー

〒604-8261 京都市中京区油小路通姉小路通上ル式阿弥町 122-1

真生ビル 2 階

TEL 075-252-6512

FAX 075-252-6513

E-mail kcda@wonder.ocn.ne.jp

附則：本規定は2022年1月1日より施行する。